

平成 19 年度 県立阿賀黎明中学校・高等学校 学校評価結果

評価項目	評価内容			評価	
	具体的目標	具体的方策	評価基準		
学校運営	組織	・各分掌や学年等の連携を密にし、効果的に学校運営を行う。	・運営委員会で各分掌の提案や学校課題を検討し、共通理解を図る。 ・各主任は各分掌内でリーダーシップを発揮し、組織的に運営を行う。 ・自習時間を減らすため、各種行事等では特別時間割を作る。出張等については授業変更等に対応する。 ・授業を公開し、職員、保護者が自由に参観できるようにする。	・教員自己評価アンケートの結果で、 計画どおり実施できた：A 8割実施できた：B 8割未満：D	B
	授業改善	・学力検査の結果が同集団前年の結果を上回る。	・学力検査の結果分析をもとに、授業改善を行い、研究授業週間には、改善すべき項目とそれに対する学習課題及び活動を明らかにした授業を行う。	・教員自己評価アンケートの結果と達成結果で 計画どおり実施でき、目標が達成された：A 計画どおり実施でき、目標8割達成：B 計画実施できず、目標8割未満：D	B
	進路指導	・多様な進路に対応できるよう、学習習慣の定着を図る。また、進路実現に必要な力を養成する。	・家庭学習記録票を活用し、家庭の学習状況把握に役立て、以下の目標を持たせ指導する。 〈高1・高2国・英〉：家庭学習は平日2時間以上、休日3時間以上 〈高2・3数〉：家庭学習は平日1時間以上、休日2時間以上 〈高3国・英〉：平日3時間以上、休日5時間以上	・達成状況で、 全体の8割以上達成：A 全体の7割以上達成：B 全体の6割以上達成：C 全体の6割未満：D	B
			・計画的な学習習慣を身に付けるため、下記のことを行う。 〈高1〉：1泊2日の学習オリエンテーション学習を行い、計画に基づいて学習する習慣を確立させる。 〈高3〉：9月以降の放課後において、センター試験受験者を対象とした補習を行う。 〈中学・高〉：毎週、週末課題を提示し、課題を提出させ、課題テストを実施する。8割未満の生徒は再テストを行う。 〈高〉：各学年ごとに小論文模試を実施し、模試の前には事前指導を行う。	・実施状況で、 計画通り実施できた：A 8割以上実施できた：B 8割未満：D	A
・長期休業中に補習を行う。 〈中学〉：夏季休業中に10日間のサマースクールを実施する。 〈高1・2〉：夏季休業中に10日間、冬季休業中に5日間進学補習を行う。 〈高3〉：長期休業中において、センター試験受験者を対象とした補習を行う。			・実施状況で、 計画通り実施できた：A 8割以上実施できた：B 8割未満：D	A	
	・個々の生徒が自己の適性を理解し、適切かつ自主的に進路選択ができるよう、早期の段階から職業に対する意識を高め、明確な目的	〈中学・高〉：キャリア教育計画を作成し、4領域を意識した指導を行う。 〈高〉：進路学習会（説明会）を各学年ごとに年3回以上実施し、将来の進路についての関心を高め、また必要な知識を身に付けさせる。 〈高1・2〉：大学での研究・教育についての理解を深め	・実施状況と生徒の自己評価で、 全体の8割以上達成：A 全体の7割以上達成：B 全体の6割以上達成：C 全体の6割未満：D	A	

	意識を確立させる。	<p>るために、大学の先生の講義を実施する。</p> <p><高1> : 新入生意識啓発講演会を実施する。 大学進学希望者を対象に、新潟大学の学部・学科体験を実施する。</p>		
	・ 勤労体験、福祉体験等により、職業観・勤労観を育成する。	<p><中3、高1・2> : 高齢者福祉体験や職業体験活動を行う。</p> <p><中・高> : 朝学習前、各学年で朝学習の計画を立て、実施する。</p>	<p>・ 実施状況と生徒の自己評価で、</p> <p>全体の8割以上達成 : A</p> <p>全体の7割以上達成 : B</p> <p>全体の6割以上達成 : C</p> <p>全体の6割未満 : D</p>	A
生徒指導	・ 生徒の心の問題を的確に把握し、すみやかに対応する。	・ 教育相談に関する研修会を年2回実施する。	<p>・ 実施状況で、</p> <p>全学級2回以上実施 : A</p> <p>年1回実施 : B</p> <p>実施せず : D</p>	B
	・ 節度ある生活態度の育成を図る。	<p>・ 服装検査を年3回実施するとともに、継続的に指導を行う。茶髪の生徒を0にする。</p> <p>・ 校門指導や学級指導によって遅刻者を前年比10%減にする。</p>	<p>・ 達成状況で</p> <p>目標達成 : A</p> <p>茶髪0以外達成 : B</p> <p>両方達成できず : D</p>	B
	・ 生徒会行事の充実を図る。	・ 中高生徒会の連携を図り、より充実した生徒会行事を実施する。	<p>・ 達成状況で、</p> <p>黎明祭・体育祭で中高協力して企画・立案ができた : A</p> <p>一方の行事でできた : B</p> <p>両方の行事でできなかった : D</p>	A
	・ 保健・安全に対する理解と意識を高め、安全教育の徹底を図る。	<p>・ 交通違反及び交通事故0宣言を行い、生徒の安全への意識を高める。</p> <p>・ 風邪防止の指導を流行前に徹底して行い、感染防止及び手段発生を防ぐ。</p>	<p>・ 実施状況と目標達成状況で</p> <p>計画どおりでき目標達成 : A</p> <p>実施できず。または交通事故あり : D</p>	A
国際交流教育	・ 海外研修の実施とその事前指導を通して、国際理解教育を推進する。	<p>・ 海外研修を実施する。</p> <p>・ 具体的な計画を生徒に示し、希望者を募る。</p> <p>・ 前年度海外研修参加者の体験報告会を高校1・2年生及び中学生対象に実施する。</p>	<p>・ 実施状況で、</p> <p>計画どおり実施 : A</p> <p>実施できず : D</p>	A
	・ 本校の情報を地域・保護者へ発信する。	・ 公式 Web ページ・携帯ページの更新し、年間アクセス数7,500カウントを超える。	<p>・ 実施状況と目標達成状況で、</p> <p>すみやかに更新でき、目標アクセス数を達成 : A</p> <p>どちらか達成 : B</p> <p>両方達成せず : D</p>	B
	・ P T A 活動の活性化を目指し、総会をはじめとする行事の内容の充実及び P R に努め、保護者の参加率を高める。	<p>・ P T A 総会において、進路指導部・生徒指導部と連携し、保護者対象の講演会を実施する。</p> <p>・ 総会等行事の開催日程を地区 P T A や学校だよりで保護者に早期に P R する。</p> <p>・ 学年保護者会、学級保護者会について、保護者の意見が反映されるよう運営を工夫する。</p>	<p>・ 保護者・職員アンケート評価（満点4）で、</p> <p>3.5以上 : A</p> <p>3.0以上 : B</p> <p>2.5以上 : C</p> <p>2.5未満 : D</p>	B
学級経営	基本的な生活習慣の確立を図り、生活改善・向上を図る。	・ あいさつの励行、返事、提出物、身だしなみ、その場に応じた言動、交通ルールの厳守等ができるよう適時指導する。	<p>・ 教職員の指導の状況および生徒自己評価で</p> <p>9割以上達成 : A</p> <p>8割以上実施 : B</p>	B

生活 学習 慣			7割以上実施：C 7割未満実施：D	
学習 指導	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な学習態度と基礎学力の定着を図る。 基礎・基本の定着を目指し、また上級学校の進学も念頭に入れて学力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の習慣化を目指し、学習記録の点検や家庭学習時間調査を行い、生徒の学習状況を把握し、継続的な支援・指導を行う。 週末課題・朝学習・毎日課題の実施、各種検定の受検を目標に目的意識をもたせ家庭学習を促す。 オリエンテーション合宿や学習合宿を行い、適切な学習方法、進路意識の啓発を行う。 少人数指導や習熟度別学習，TT等を取り入れ、わかりやすい授業を行う。また、わからない生徒への補習、試験前の質問教室の実施による個別指導を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の指導の状況および生徒自己評価で 9割以上達成：A 8割以上実施：B 7割以上実施：C 7割未満実施：D 	B
心 の 教 育	<ul style="list-style-type: none"> 自他の良さを認め、互いに高め合う集団を育成する。 多様な体験活動の実施により、豊かな人間性を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルスキルトレーニングや構成的グループエンカウンターなどの手法を用い、個性や立場を尊重し合う望ましい人間関係づくりを促進する。 教育相談を通し、生徒の悩みや思いを把握する。 生徒会活動や係活動を通し、責任感や集団に貢献する態度を身に付けさせる。 学校行事、宿泊研修や体験活動を通し、協力・思いやりの心、リーダーシップ・フォロワーシップを身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員自己評価アンケートの結果で、 計画どおり実施できた：A 8割以上実施できた：B 8割未満：D 	A
進 路 指 導	<ul style="list-style-type: none"> 自分の将来について関心を持たせ、個性や能力を伸張させる。 進路指導を充実させ、課題を自身の問題として主体的にとらえさせ、具体的な目標に向け行動に移させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 面談を通して生徒の進路希望を把握し相談にのるとともに、進路ガイダンスを年3回以上実施し、生徒の自己理解を深めさせる。 外部講師による講演会を年3回以上実施し、生徒に卒業後の進路、またその実現に向けての方策を具体的に考えさせる。 大学進学を希望する生徒対象にオープンキャンパスに参加させ、進路についての目標をより具体化させる。 進学希望者には、模擬試験や小論文模試を積極的に受験させ、準備と見直しにも十分な時間をかけて指導する。また、各種補習に出席させ、センター試験で結果が出せるようにする。 就職希望者には、漢字テストや授業の予復習を通して基礎学力を定着させる。また、面接指導や履歴書指導を行い、自信を持って面接試験に臨めるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員自己評価アンケートの結果で、 計画どおり実施できた：A 8割以上実施できた：B 8割未満：D 	A